

個 別 の 人 権 課 題		同 和 問 題	
校 種	小学校	本時に関わる 3つの側面	知 識 的 側 面 <input checked="" type="radio"/>
対 象 学 年 等	第6学年		価 値 的 ・ 態 度 的 側 面 <input type="radio"/>
教 科 等	社会		技 能 的 側 面
单 元 名	町人の文化と新しい学問		

1 単元の目標及び計画

(1) 単元の目標

- ア 歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学について、資料を通して情報を適切に読み取り、まとめる活動を通して、町人の文化が栄え新しい学問がおこったことを理解する。
- イ 人物の働きなどに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、歴史の展開を考え表現するとともに、我が国の歴史や伝統を大切にしていこうとする態度を養う。

(2) 単元の計画

- 1次・・・江戸や大阪のまちと人々の暮らし
2次・・・新しい学問・蘭学と国学の発展（本時を含む）

2 学習指導要領等の該当箇所

小学校学習指導要領・第2章・第2節社会・第2各学年の目標及び内容・[第6学年]

2 内容

- (2) 我が国の歴史上の主な事象について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
- ア 次のような知識及び技能を身につけること。その際、我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、大まかな歴史を理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解すること。
- (ア) 歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学を手掛かりに、町人の文化が栄え新しい学問がおこったことを理解すること。
- イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。
- (イ) 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。

また、「小学校学習指導要領（平成29年告示）解説社会編」の第3章第4節の「第6学年の目標及び内容」では、「例えば、歌舞伎や浮世絵の作品、『解体新書』や日本地図などの学問の成果などを資料で調べ、それらをまとめることが考えられる。ここでは、当時の作品などの資料から文化や学問に関する情報を適切に読み取る技能、調べたことをまとめることなどを身に付けるようにすることが大切である。」と示されています。

3 本時の目標

杉田玄白らが取り組んだ「解体新書」の作成について資料で調べ、その苦労や成果等を理解するとともに、蘭学を学んだ人々の活動がその後の社会に与えた影響について考え、表現する。

4 人権教育との関わり

この単元では、歌舞伎や浮世絵の作品や国学や蘭学などの新しい学問の成果などについて調べ、江戸時代に栄えた町人の文化の特色や新しい学問を生み出した人物の業績などについて学習する中で、個別の人権課題の一つである「同和問題」に関連する内容を取り扱います。具体的には、杉田玄白らが見学した人体の解剖を行ったのは江戸時代の身分制度のもとで百姓や町人からも差別された人々であり、その人々の優れた解剖の技術や知識がその後の医学の発展につながったことについて理解することを大切にしています。また、新しい学問を学ぶ中で、広い視野をもち、自分で確かめて判断しようとする人々が現れたことが社会の発展につながったことに気付かせることも大切にしています。

5 本時で育てたい3つの側面

知 識 的 側 面	人権の発展・人権侵害等に関する歴史や現状に関する知識
価 値 的 ・ 態 度 的 側 面	社会の発達に主体的に関与しようとする意欲や態度

6 本時の学習過程

学習過程等	人権教育との関わり等	資料等
<ul style="list-style-type: none"> 江戸時代に鎖国を続けていた日本では、ヨーロッパの新しい知識や技術を学ぶことがとても難しかったことを確認する。 江戸時代の中頃になると洋書を輸入することができるようになり、西洋の学問を学ぶ人々が出てきたことを説明し、「ターヘルアナトミア」の写真を提示して本時の学習への関心を高める。 ヨーロッパの新しい知識や技術は、オランダを通じて日本に伝わったので、「蘭学」とよばれていた。 <p>【課題】 杉田玄白や前野良沢らは、なぜ苦労してまでオランダ語の医学書である「ターヘルアナトミア」を翻訳し、「解体新書」を著したのだろう。</p>	<p>【知識的側面】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人権の発展・人権侵害等に関する歴史や現状に関する知識 <p>【指導上のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> 身分制度の下で百姓や町人からも差別された人々が、正確な知識と技術に基づき、医学の発展を支える役割を果たしたこと気に付かせる。 	<p>○資料「ターヘルアナトミア」の写真</p>
<p>■学習活動</p> <p>【杉田玄白らはどのようなきっかけで翻訳しようと決意したのか資料から読み取ろう。】</p> <ul style="list-style-type: none"> 杉田玄白や前野良沢は当時の医者であった。 1771年に「ターヘルアナトミア」というオランダ語で書かれた医学書を手に入れたが、オランダ語が解らず辞書もなかったため、全く読めなかつた。 図に描かれていた人体の構造は、それまで自分たちが見たり読んだりしたものとは全く異なっていた。 二人は実際に人体の解剖に立ち会い、オランダの医学書がとても正確であることに驚いた。 この時、実際に解剖して人体の構造を説明したのは、当時の身分制度の下で百姓や町人からも差別された人であつた。 医者としての自分たちが人体の本当の姿を知らずにいたことに気付き、「ターヘルアナトミア」を翻訳すれば正確な知識を習得でき、治療に役立つと考えた。 詳しいオランダ語の辞典もない中で、医学用語の日本語訳に苦労しながら作業を進め、約3年半かけて「解体新書」として完成させた。 <p>【まとめ】 杉田玄白や前野良沢は解剖を見学した際に、医者である自分たちの知識の多くが間違っていたこととオランダ語の医学書の正確さがわかつたので、治療に役立てるために苦労しても翻訳し、「解体新書」を著した。</p>	<p>○資料「蘭学事始」の抜粋</p> <p>○資料「当時使われていた解剖図」と「ターヘルアナトミアの解剖図」</p>	<p>○資料「解体新書」の解剖図</p>
<p>■学習活動</p> <p>【杉田玄白らの活動は社会にどのような影響を与えたのだろう。】</p> <p>(例) 本格的に西洋医学が日本に導入されるようになった。</p> <p>(例) 医学以外にも様々な学問の新しい知識や技術が日本に紹介されるようになった。</p> <p>(例) 物事を科学的に探究したり、世界に目を向けて社会の在り方を考えたりしようとすることが大切であることに人々が気付くきっかけとなった。</p>	<p>【価値的・態度的側面】</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会の発達に主体的に関与しようとする意欲や態度 <p>【指導上のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> 蘭学を学ぶ中で、広い視野をもち、自分で考え判断しようとした人々の活動が、日本で新しい技術や知識が普及するきっかけとなったことを確認する。 	